富山県：立山 雷鳥坂

北海道：羊蹄山

石川県：兼六園（写真提供：金沢市）

Interim Mini Disclosure 2017

HOKUHOKU REPORT

ミニディスクロージャー誌　平成30年3月期・営業の中間ご報告

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

福井県：一乗滝（写真提供：福井市）

北海道：中島公園

ごあいさつ

取締役社長　**庵　栄伸**
（北陸銀行　頭取）

取締役副社長　**笹原　晶博**
（北海道銀行　頭取）

皆さまには、日頃よりほくほくフィナンシャルグループおよび当社グループ会社に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの「ミニディスクロージャー誌（平成30年3月期・営業の中間ご報告）」をお届けいたします。本誌では、平成２９年度中間期の業績ならびに各種取り組みなどをご紹介しておりますので、ご高覧いただき、ご理解を賜れば幸いに存じます。

足もとの国内経済は、米国の政治動向や北朝鮮問題などを背景に不確実性が高まっておりますが、総じて緩やかな回復基調を持続しています。当社グループの主要営業地域においても、雇用環境の改善のもと個人消費が着実に持ち直しているほか、北陸では電子部品・機械・化学等の製造業の生産の増勢が続いており、北海道においても公共投資が増加し観光も回復するなど、地域経済は回復・拡大の基調を維持しております。一方で、私ども地域金融機関を取り巻く経営環境は、金融緩和政策を背景とした超低金利環境の継続や地域の人口減少・少子高齢化の進展などにより、年々厳しさを増しております。

こうした中、当社グループは中期経営計画「BEST for the Region」のもとに、地域ナンバーワンの金融サービスの提供によるお客さまと地域への貢献に取り組んでおります。個人のお客さまには、対面・非対面チャネルの機能向上や証券子会社を含めたサービスの拡充を図るとともに、ライフステージに応じたお役に立つ提案に努めております。法人マーケットにおいては、事業性評価等を通じて経営課題やニーズを共有し、様々なソリューションを提供することで、お取引先と地域産業の成長・発展に貢献するよう取り組んでおります。引き続き、ビジネスモデルの変革に取り組むことで厳しい経営環境に打ち勝ち、地域に安定的な金融サービスを提供し、地域とともに成長・発展する金融グループを目指してまいります。

皆さまにおかれましては、引き続きのご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年12月

経営理念

「ほくほくフィナンシャルグループ」は、広域地域金融グループとしてのネットワークと総合的な金融サービス機能を活用して、地域とお客さまの繁栄に貢献し、ともに発展しつづけます。

地域共栄	社会的使命を実践し、地域社会とお客さまとともに発展します。
公正堅実	公正かつ堅実な経営による健全な企業活動を目指し、信頼に応えます。
進取創造	創造と革新を追求し、活力ある職場から魅力あるサービスを提供します。

目　次

ごあいさつ …… 01
中期経営計画 …… 02
業績ハイライト …… 03
グループの概要 …… 07
ネットワーク …… 08
地域とともに …… 09
財務諸表 …… 17
ご案内 …… 21

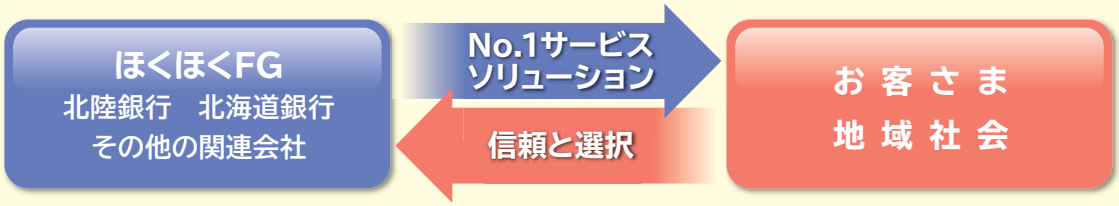
中期経営計画の概要

『BEST for the Region』 平成28年4月～平成31年3月

～予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、
ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果のさらなる追求に取り組む期間～

目指すグループ像

地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ



お取引先の役に立つ商品・サービスやコンサルティング機能の提供（Beneficial）、グループの業務集約やエリア営業体制の拡充等による効率的な経営体制・営業体制の整備（Efficient）、着実な収益の積み上げによる健全で信頼される経営基盤の確保（Sound & Trustworthy）により地域No.1の金融グループを目指してまいります。

3つのコンセプト

①営業力の強化
お客さまの期待を上回る提案力・サービス力の実現

②経営の効率化
競争を勝ち抜く機能的な組織の追求

③経営基盤の強靭化
地域から信頼される安定した財務基盤の構築

中期経営計画で目標とする計数

連結／2行合算（億円）	28年度実績	29年度中間実績	30年度計画
預金平残	104,096	107,375	105,600
貸出金平残	76,848	78,356	77,600
コア業務粗利益	1,329	648	1,345
経費	898	445	930
コア業務純益	430	203	415
信用コスト	△6	23	60
親会社株主に帰属する当期純利益	281	111	230
（連結）自己資本比率	9.43%	9.73%	9.55%
コア業務粗利益ベースOHR	67.58%	68.65%	69.14%

営業の概況

■ ほくほくフィナンシャルグループ連結

（単位：億円）

	29年9月期	前中間期比	28年9月期
経常収益	917	△ 21	939
経常利益	180	△ 56	237
親会社株主に帰属する中間純利益	111	△ 56	167
自己資本比率	9.73%	△ 0.55%	10.28%

当社における29年9月期の業績につきましては、連結経常収益は前中間期比21億円減少の917億円、連結経常利益は前中間期比56億円減少の180億円、親会社株主に帰属する中間純利益は前中間期比56億円減少の111億円となりました。

連結自己資本比率は9.73%となりました。

■ 北陸銀行・北海道銀行 <2行合算>

（単位：億円）

	2行合算		
	29年9月期	前中間期比	28年9月期
経常収益	837	△ 26	864
コア業務粗利益	648	△ 45	694
経費(臨時処理分を除く)	445	△ 0	445
コア業務純益	203	△ 45	248
与信費用	23	35	△ 11
経常利益	191	△ 46	237
中間純利益	125	△ 47	172

2行合算では、経常収益は前中間期比26億円減少の837億円となり、中間純利益は前中間期比47億円減少の125億円となりました。

北陸銀行では、経常収益は前中間期比2億円減少の456億円となり、中間純利益は前中間期比41億円減少の65億円となりました。

北海道銀行では、経常収益は前中間期比17億円減少の387億円となり、中間純利益は前中間期比5億円減少の59億円となりました。

（単位：億円）

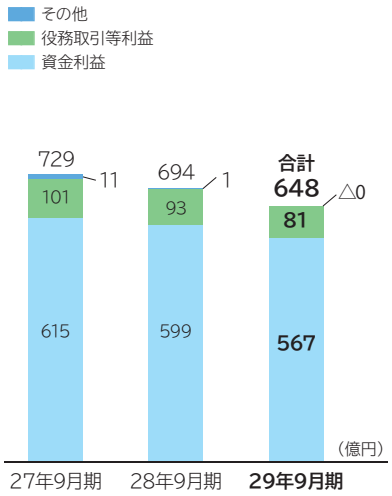
	北陸銀行		
	29年9月期	前中間期比	28年9月期
経常収益	456	△ 2	458
コア業務粗利益	353	△ 14	368
経費(臨時処理分を除く)	238	△ 0	238
コア業務純益	115	△ 14	129
与信費用	17	28	△ 10
経常利益	108	△ 36	145
中間純利益	65	△ 41	107
自己資本比率	9.04%	△ 0.44%	9.48%

（単位：億円）

北海道銀行		
29年9月期	前中間期比	28年9月期
387	△ 17	405
296	△ 28	325
206	△ 0	207
90	△ 28	118
6	7	△ 0
82	△ 9	92
59	△ 5	65
9.53%	△ 0.52%	10.05%

損益の状況

■ コア業務粗利益<2行合算>



資金利益 **567億円**

貸出金利息の減少により、前中間期比31億円減少しました。

役務取引等利益 **81億円**

投資信託および保険販売手数料の減少により、前中間期比12億円減少しました。

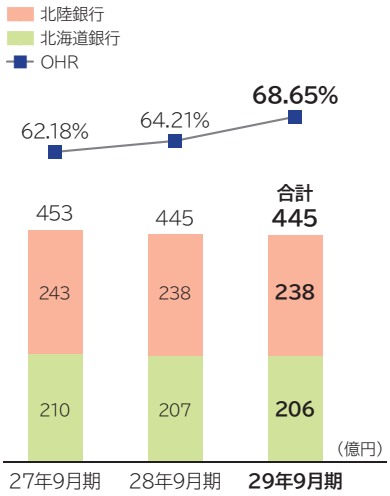
その他 **△0億円**

外為売買益の減少により、前中間期比1億円減少しました。

コア業務粗利益 **648億円**

上記の結果、前中間期比45億円減少しました。

■ 経費<2行合算>

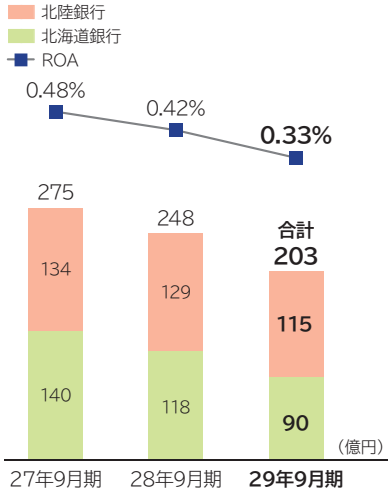


経費

445億円

人件費は減少しましたが、物件費および税金が増加したことから、前中間期比ほぼ横ばいで推移しました。

■ コア業務純益<2行合算>

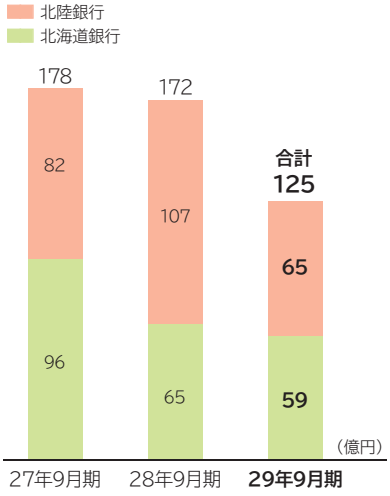


コア業務純益

203億円

コア業務粗利益の減少により、前中間期比45億円減少しました。

■ 中間純利益<2行合算>



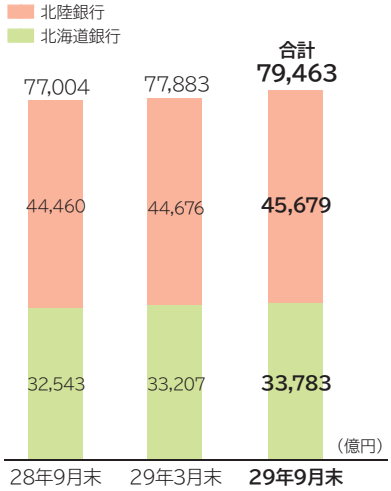
中間純利益

125億円

株式等損益は増加しましたが、与信費用が増加したことにより、中間純利益は前中間期比47億円減少となりました。

貸出金・預金等の状況

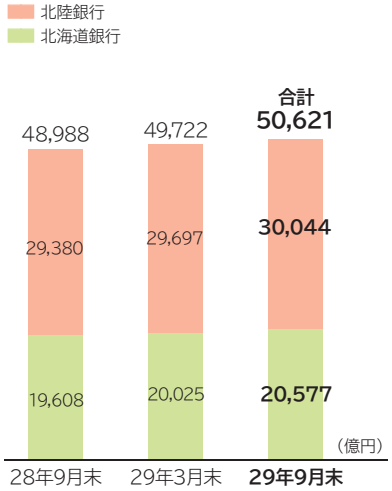
■ 貸出金<2行合算>



貸出金
7兆9,463億円

事業性貸出、個人ローン、地方公共団体等向け貸出の増加により、前中間期末比2,458億円増加しました。

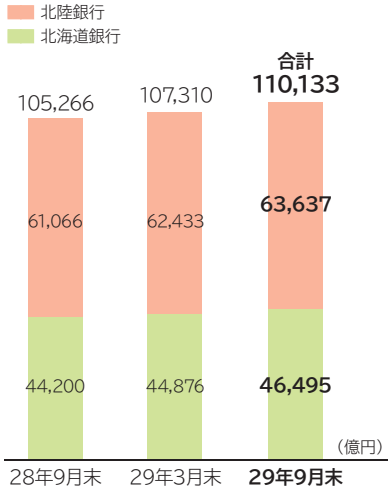
■ 中小企業等貸出<2行合算>



中小企業等貸出
5兆621億円

地域の資金需要を積極的に取り込んだ結果、前中間期末比1,633億円増加しました。

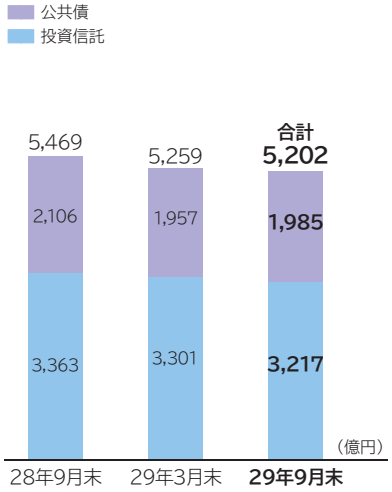
■ 預金（含む譲渡性預金）<2行合算>



預金（含む譲渡性預金）
11兆133億円

個人預金、法人預金とも順調に増加し、前中間期末比4,866億円増加しました。

■ 個人預かり資産（公共債、投資信託）<2行合算>

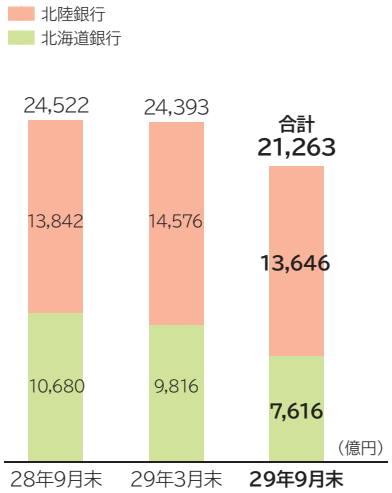


個人預かり資産
5,202億円

投資信託が減少したことから、前中間期末比266億円減少しました。

有価証券残高・健全性の指標

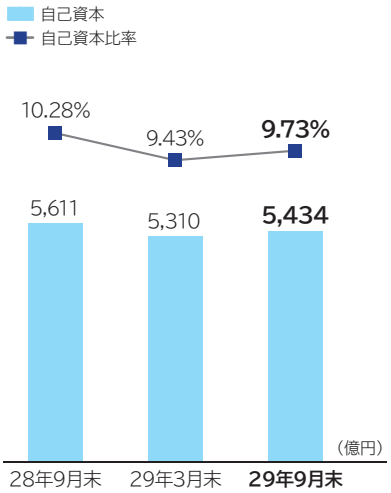
■ 有価証券残高<2行合算>



有価証券残高
2兆1,263億円

有価証券残高は、金利情勢を勘案して円債の新規購入を控えて償還が進んだことに加え、外国証券や投資信託の残高を圧縮した結果、29年3月末比3,130億円減少しました。

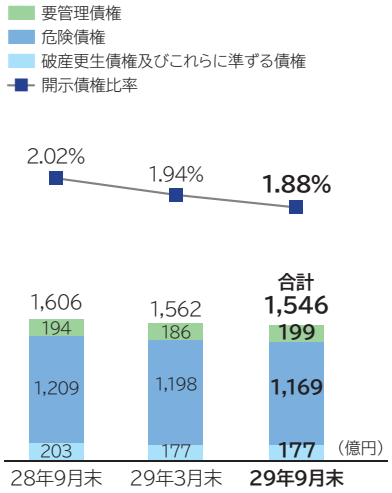
■ 自己資本比率<FG連結>



自己資本比率
9.73%

利益による剰余金の積上げにより自己資本が増加したことなどにより、29年3月末比0.30ポイント上昇しました。

■ 金融再生法開示債権<2行合算>



金融再生法開示債権
1,546億円

29年3月末比15億円減少しました。

開示債権比率
1.88%

29年3月末比0.06ポイント改善しました。

■ 格付

格付投資情報センター
R&I

「格付」は、利害関係のない第三者機関である格付会社が企業の信用度や債務履行能力を簡潔な記号で表したものです。

当社、北陸銀行および北海道銀行はR&Iより「A」の格付を取得しており、信用力は高いとの評価を得ています。また、北陸銀行はS&Pより「A-」、北海道銀行はJCRより「A」の格付も取得しています。

グループの概要 ほくほくフィナンシャルグループ

（平成29年9月末現在）

銀行持株会社

Hokuhoku Financial Group, Inc.

名　　称	株式会社ほくほくフィナンシャルグループ
本店所在地	富山市堤町通り1丁目2番26号
業務の内容	1. 傘下子会社の経営管理および附帯業務 2. その他銀行法が認める業務

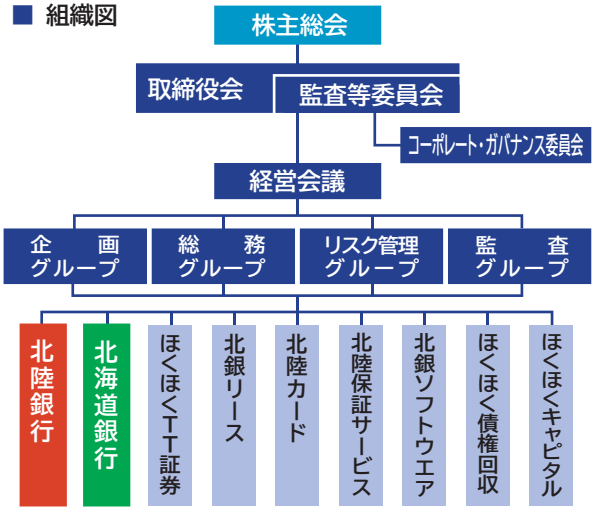
■ 資　本　金　708億9,500万円

■ 発行済株式　普通株式　132,163,014株
第1回第5種優先株式　107,432,000株

■ 取締役の役職および氏名

役職名	氏名	役職名	氏名
取締役社長	庵　栄伸	取締役	小倉　隆巳
取締役副社長	笹原　晶博	取締役監査等委員(常勤)	菊島　聡史
取締役	麦野　英順	取締役監査等委員(社外)	川田　達男
取締役	兼間　祐二	取締役監査等委員(社外)	中川　了滋
取締役	吉田　剛	取締役監査等委員(社外)	眞鍋　雅昭
取締役	浅林　孝志	取締役監査等委員(社外)	鈴木　伸弥

■ 組織図



■ 従業員の数　専任者12名

■ 設　立　日　平成15年9月26日

■ 各組織の構成および役割等

取締役会　グループ全体の経営にかかる重要方針を決定し、持株会社ならびに子会社の経営管理・リスク管理・監査について管理監督します。4名の社外取締役を選任し、経営から独立した視点を取り入れ、監督機能を強化しています。

監査等委員会　監査の方針・計画・方法や、選定監査等委員の職務の遂行に関する事項を決定し、取締役の職務の執行の監査や、監査等委員以外の取締役の選任・報酬等についての意見の決定等を行います。

コーポレート・ガバナンス委員会　社外取締役および常勤監査等委員で構成し、当社グループの持続的な成長および長期的な企業価値の向上を目的に、社外取締役間の情報交換や認識共有、当社重要事項への助言を行います。

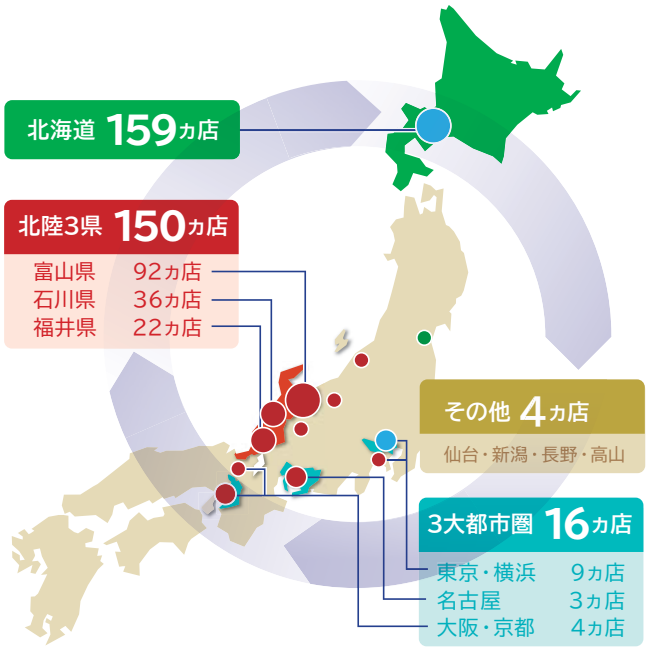
経営会議　当社の常勤取締役で構成し、取締役会で決定した基本方針に基づき、全般的な業務執行方針および各部門の特に重要な業務執行に関する事項を決定します。

■ グループ各社の内容

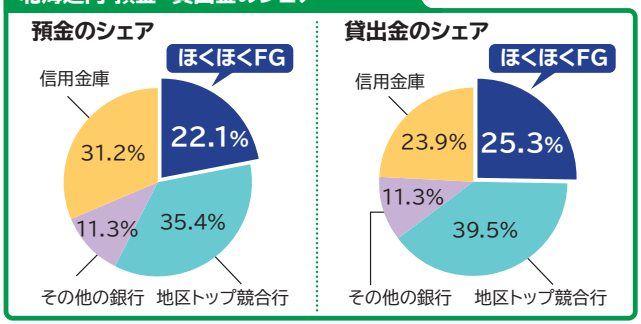
(株)北陸銀行 (株)北海道銀行	ほくほくフィナンシャルグループの中核企業として、総合金融サービスの提供を行っています。
ほくほくTT証券(株)	証券会社として、株式や投資信託、債券等、幅広い運用商品の提供を行っています。
北銀リース(株)	リース業務、代金回収業務などを行っています。
(株)北陸カード	JCB・VISAのカード業務、北陸銀行のカードローン「スーパーNOW」等の信用保証業務などを行っています。
北陸保証サービス(株)	住宅ローンやマイカーローンなどの個人向けローンの信用保証業務、不動産担保調査受託などを行っています。
北銀ソフトウエア(株)	コンピュータシステムの開発・保守・管理業務の受託および販売業務などを行っています。
ほくほく債権回収(株)	銀行の個人向けローン管理業務受託、地域の企業再生支援およびグループ内の債権回収・整理業務などを行っています。
ほくほくキャピタル(株)	株式公開の立案・アドバイス業務、社債引き受け業務、ベンチャーキャピタル業務などを行っています。

広域ネットワークを活かした情報・サービスでお客さまをサポート

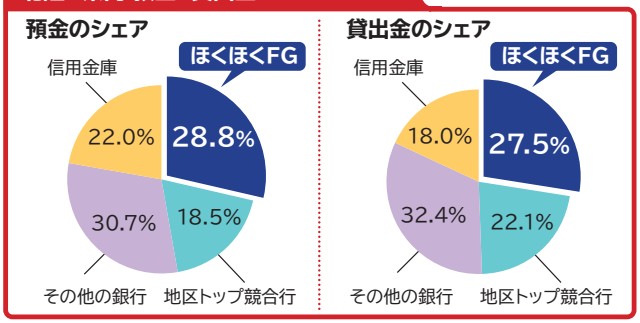
ほくほくフィナンシャルグループは、北陸三県および北海道を主要営業基盤とする広域金融グループとして、三大都市圏を含む情報ネットワークと総合金融サービス機能を活用し、地域のお客さまの繁栄に貢献していきます。



北海道内 預金・貸出金のシェア



北陸3県内 預金・貸出金のシェア



※シェアは、平成29年3月末現在。日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、信金中金地域・中小企業研究所「信金中金月報」などにより当社にて作成。
※「地区トップ競合行」「その他の銀行」のシェアは推定値。ゆうちょ銀行は除く。

グローバルネットワークで海外進出をバックアップ

グローバル化の進展により、ますます活発化するお取引先の皆さまの海外進出ニーズにお応えするため、当社グループでは海外ネットワークの充実に努めていきます。

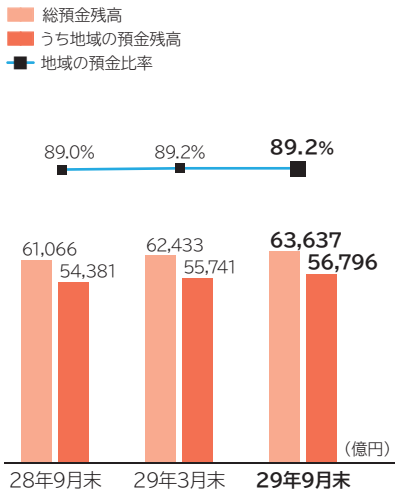
❶ニューヨーク駐在員事務所
❷ロンドン駐在員事務所
❸バンコク駐在員事務所
❹シンガポール駐在員事務所
❺上海駐在員事務所
❻大連駐在員事務所
❼瀋陽駐在員事務所
❽ウラジオストク駐在員事務所
❾ユジノサハリンスク駐在員事務所

海外駐在員事務所 9 拠点　北陸銀行 6　北海道銀行 3

注)「地域」とは、北陸銀行の主要営業基盤地域である北陸三県(富山、石川、福井)および北海道を指します。

預金・貸出金の状況

地域の預金(含む譲渡性預金)の状況

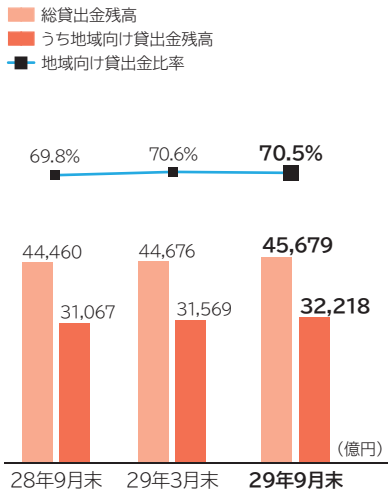


総預金残高
6兆3,637億円

うち地域の預金残高
5兆6,796億円

地域の預金比率
89.2%

地域向け貸出金の状況

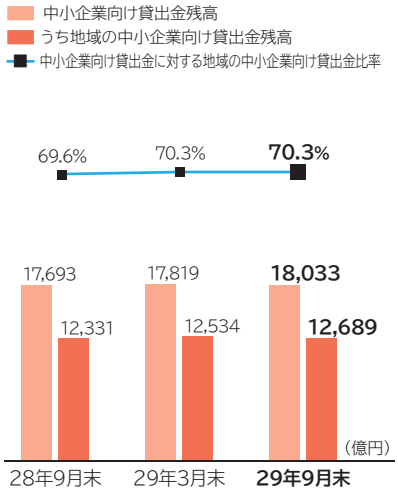


総貸出金残高
4兆5,679億円

うち地域向け貸出金残高
3兆2,218億円

地域向け貸出金比率
70.5%

中小企業向け貸出金の状況

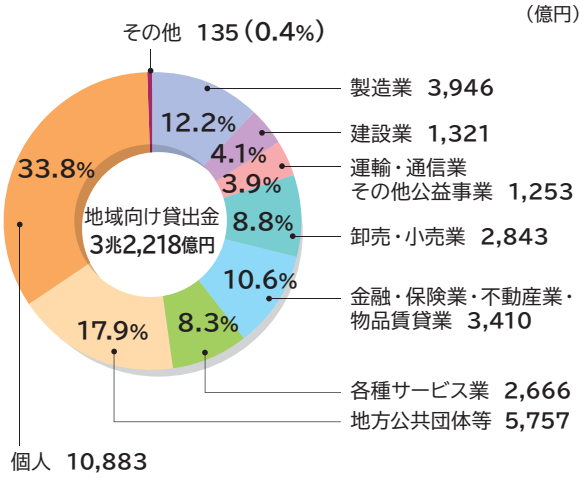


中小企業向け貸出金残高
1兆8,033億円

うち地域の中小企業向け貸出金残高
1兆2,689億円

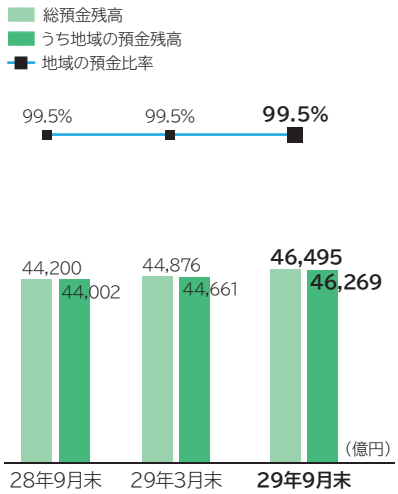
中小企業向け貸出金に対する地域の中小企業向け貸出金比率
70.3%

地域の業種別貸出残高(平成29年9月末)



預金・貸出金の状況

■ 地域の預金（含む譲渡性預金）の状況

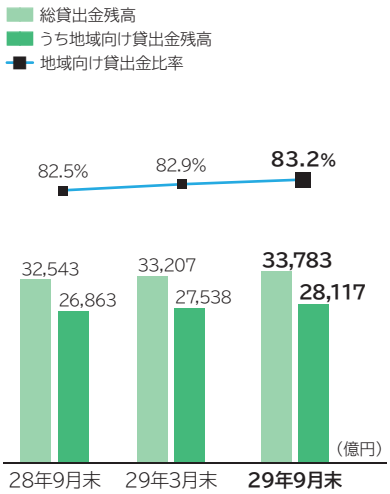


総預金残高
4兆6,495億円

うち地域の預金残高
4兆6,269億円

地域の預金比率
99.5%

■ 地域向け貸出金の状況

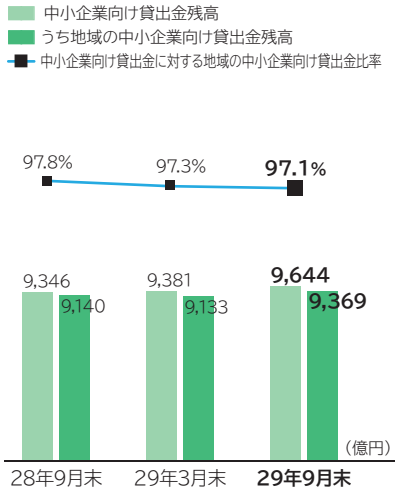


総貸出金残高
3兆3,783億円

うち地域向け貸出金残高
2兆8,117億円

地域向け貸出金比率
83.2%

■ 中小企業向け貸出金の状況

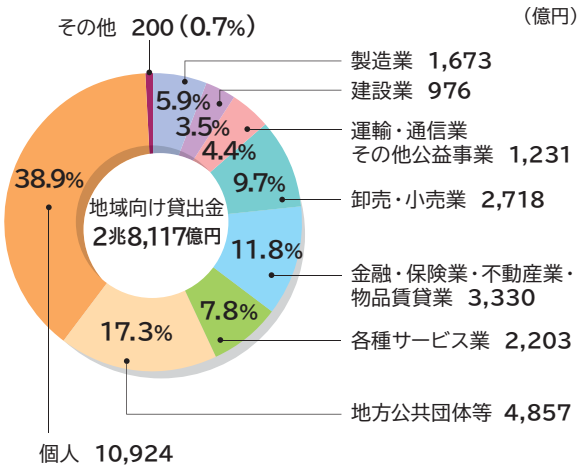


中小企業向け貸出金残高
9,644億円

うち地域の中小企業向け貸出金残高
9,369億円

中小企業向け貸出金に対する地域の中小企業向け貸出金比率
97.1%

■ 地域の業種別貸出残高（平成29年9月末）



北陸銀行の取り組みをご紹介します!

地域活性化・地方創生に

北陸銀行 北海道銀行 地方自治体との包括連携協定を締結

地域経済の発展に向けた相互の連携強化を目的として、地方自治体との包括連携協定を締結しています。

平成29年4月から9月までに、北陸銀行では高岡市、小松市を、北海道銀行では今金町、芽室町を新たに加え、グループ全体で46の自治体と協定を締結しています。

今後も、各自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進と「地方創生」に関する事業に積極的に協力していきます。

北陸銀行 「ほくぎん創業支援セミナー」を開催

創業を検討されている方や創業して間もない方を対象に、5月27日に高岡市で、7月22日に小松市で創業支援セミナー「創業のチカラ」を日本政策金融公庫と共同開催しました。参加者は、先輩起業家による講演に加え、昨今注目を集めているクラウドファンディングやネットショップビジネスに関する講演を熱心に聴講されました。

北海道銀行 北海道3自治体共催ビジネスセミナー

8月29日、道産資源を活用した食品加工や観光産業関連の立地、冷涼な気候にマッチした作物栽培を考える企業を対象に上士幌町、中標津町、ニセコ町の3自治体と共同でセミナーを開催しました。本セミナーでは「北海道ブランド」を活用するための情報発信を行い、食品加工業をはじめ、ケミカル医薬品製造やIT、建設不動産業等さまざまな業種の企業に参加いただきました。

参加者……96名

北海道銀行 国土交通省との「PPP協定（II）」パートナー就任

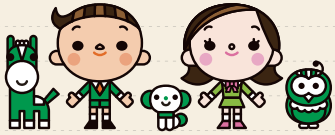
4月3日、国土交通省との「PPP協定（II）」パートナーに就任しました。本協定は、PPP／PFI(*)の推進に当たり、効果的かつ効率的な施策の推進を図ることを目的としています。

PPP／PFIに関するセミナーの開催等において、今まで以上に国土交通省の支援を得ることで、道内の自治体や事業者の皆さまに一層役立つ情報を提供します。

(*)PPP/PFI…民間の資金やノウハウを活用して、公共施設の更新や管理運営を円滑に進めていく考え方・手法のこと

関する取り組み

北海道銀行 の取り組みをご紹介します!



北陸銀行 北海道銀行 「インバウンドプロダクツ2017」を開催

5月18日、増加する訪日外国人客の受入態勢づくりを支援するための展示・個別商談会を開催しました。マーケティング(SNS活用・国別情報発信)、多言語対応(通訳・デジタルサイネージ・外国人人材紹介)、システム(Wi-Fi・免税・決済・予約)等のサービス提供事業者62社が出展しました。当日は、北海道のホテル・旅館をはじめとした観光関連事業者約500社1,000名が来場し、出展企業と商談を行いました。

北陸銀行 北海道銀行 東証と「資本市場に関する連携についての基本協定」を締結

7月25日、株式会社東京証券取引所と「資本市場に関する連携についての基本協定」を締結しました。国内の金融機関と東証がこのような協定を締結するのは初めてです。

本協定は、企業の上場支援や投資者の金融リテラシー向上に取り組むことを目的としています。地域経済の中核となる産業や企業の育成が必要とされる中で、直接金融と間接金融が密接に連携して北陸や北海道の成長企業を後押ししていきます。

北陸銀行 「地方銀行未来応援団」を設立

7月13日、各地域にある「伝統の技」を時代に合ったものに変革することで、新たな購入層を開拓するため、「地方銀行未来応援団」を大垣共立銀行と共同で設立しました。同組織は、株式会社日本経済新聞社が運営する購入型クラウドファンディングサイト「未来ショッピング」を活用することで「新たな商品」を全国に発信し、地域のものづくりの活性化を後押しする広域的な取り組みを目指すものです。

北陸銀行 「地域応援」活動

創業140周年を機に、地域に支えられてきた銀行として地域の方々を元気にすることを目的に、各支店で「何が地域に喜ばれるか」を考え、さまざまなプロジェクトを企画・実施しています。6月から活動をスタートし、大学・観光協会と共同で外貨両替のできる場所が一目で分かる「両替ガイドマップ」作成や地元小学校での読み聞かせなどを実施しています。年度を通して全101カ店110プロジェクトの実施を予定しています。

お取引先の成長を

販路拡大支援

北陸銀行 北海道銀行 「遼寧省中日商談会」を開催

9月13日、北海道銀行の瀋陽事務所がある中国遼寧省瀋陽市において、第1回目となる商談会を開催しました。

中国に進出している企業が、新たな部材調達先や販売先、投資・合弁パートナーを求め、今まで接点のなかった瀋陽市企業と商談を行いました。

出展企業…… 約100社

北陸銀行 北海道銀行 「FOOD EXPO 北海道」を開催

7月18日、道内の食品生産・製造・加工メーカー等の販路拡大支援を目的に、“食の商談会”「FOOD EXPO 北海道」を開催しました。

本商談会では道内全域に亘る幅広いネットワークを活かし、北海道の「優れた逸品」「隠れた逸品」を道内外のバイヤーに対してPRしました。

出展者…… 136社・団体
来場者…… 約1,000名

北陸銀行 北海道銀行 「ビジネス・サミット2017」を開催

7月11日、「ビジネス・サミット2017」を金沢にて大垣共立銀行と共同開催しました。本商談会は、事前アポイント型の個別商談会で、商談成約率の向上を図りました。

参加バイヤー …… 118社
参加サプライヤー …… 156社
商談件数 …… 1,245件
当日成約件数 …… 99件

北海道銀行 農業ベンチャーおよび道銀地域総合研究所との間で「包括業務提携に関する覚書」を締結

農業ベンチャーの株式会社ファーム・アライアンス・マネジメントおよび道銀地域総合研究所との間で、業務提携の覚書を締結しました。同社は、農産物の安全管理の国際規格である「グローバルＧＡＰ」の取得支援や生産情報管理システム「Farm Records」の提供を行っている企業です。

グローバルＧＡＰの普及は、農業者の経営品質改善や輸出可能性の伸長等、北海道農業の発展に貢献するものです。本提携により三者が有するサービス・ノウハウを活用し、道内農業者の認証取得等を支援していきます。

Farm Alliance

支援する取り組み

海外進出支援

北陸銀行 「長城会セミナー」を開催

平成15年3月より、海外ビジネスを展開中または関心を持つお取引先を中心に会員組織「ほくりく長城会」を運営しており、今年も会員向けに「長城会セミナー」を開催しました。

名南経営コンサルティングの小島副社長に「中国の現状と進出日系企業を取り巻く環境」という演題で講義いただき、海外販路の開拓に関するノウハウを提供しました。

参加者
富山会場 …… 48名
金沢会場 …… 27名

北陸銀行 北海道銀行 タイ・バンコクで「北海道レストランフェア」を開催

7月28日～8月14日、「北海道レストランフェア」を開催しました。本イベントでは北海道の特色ある食材を実際に輸出し、現地高級日本料理店でその特性を生かしたメニューを提供しました。SNSやブログを広告に活用し、道産食品を輸出する際に必要な一連の手続きを実際に行うことで、今後の継続的な輸出取引に向けた支援を行いました。

開催店舗 …… 5店舗

北陸銀行 武漢市商務局と経済交流の覚書を締結

9月8日、中華人民共和国湖北省の省都である武漢市の商務局との間で「経済交流を促進することについての覚書」を締結しました。

本覚書の締結により、中国中部地区へ進出を検討しているお取引先への現地投資環境情報の提供や進出サポートとともに、既に進出しているお取引先への商談会共催による新たなビジネス機会の創出などを進めていきます。

北海道銀行 ロシアビジネスセミナーを開催

9月22日、ロシアの提携銀行VTB24銀行から、リテール分野に強みを持つウラジオストク支店とユジノサハリンスク支店の支店長を招聘し、経済動向や地域情勢について情報提供を行いました。同セミナーには地方公共団体関係者のほか、建設、農業、水産、食品関係者約50名に参加いただきました。

参加者 …… 約50名

CSRの取り組み

北陸銀行 北海道銀行 「YOSAKOIソーラン祭り」に参加

6月7日～11日、札幌の初夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り2017」に市民団体との合同チーム「北海あほんだら会＆ほくほくフィナンシャルグループ」として出場しました。参加13年目となる今回は北陸銀行、北海道銀行から行員56名が踊り子や旗振りとして参加し、力強い演舞を披露しました。

北陸銀行 ギャルリ・ミレー開館5周年および「高齢者運転免許証自主返納サポート活動」への協賛

北陸銀行所蔵の絵画を展示する美術館「ギャルリ・ミレー」が開館5周年を迎えたことを記念し、9月1日から3日まで無料開放を行いました。期間中は、「おわら風の盆」に合わせて富山県にお越しになった方など多くの方々が美術館を訪れ、ミレーやバルビゾン派の作品を楽しまれました。

また9月21日より、「高齢者運転免許証自主返納サポート活動」に協賛し、運転免許証を自主返納した高齢者に対し、運転免許経歴証明書の提示で、入館料を無料にする試みを始めました。

北陸銀行 金沢百万石まつり・富山まつりに参加

6月、金沢市内で開催された「金沢百万石まつり」の「百万石踊り流し」に、行員約110名が参加しました。また8月には、富山市内で開催された「富山まつり」の「越中おわら踊り」に、行員約140名が参加しました。両日とも、北陸銀行キャラクター「ほくまる」「りくひめ」も参加しました。当日は沿道から多くの皆さまに声援をいただき、地域の皆さまと一体となってお祭りを盛り上げました。

北海道銀行 どうぎんライラックコンサートを開催

毎年5月、美しいクラシック音楽に気軽に触れてもらうこと、北海道の文化を身近に感じてもらうことを目的に「道銀ライラックコンサート」を開催しています。今年は5月26日、札幌コンサートホールKitaraにお客さま1,900名を招待し、ピアノ奏者の中谷友美さんと札幌交響楽団による共演をお楽しみいただきました。

北陸銀行 TOPICS

コールセンターの開設について

10月2日、お客さまへのサービス向上に向けた取り組みとして、新たにコールセンターを設置しました。コールセンターでは各種お問合せへの対応や住所変更の手続きに加え、自動音声により残高照会・取引移動明細照会にお応えするサービスを行っています。従来、本部各部署で担当していた各種フリーダイヤルをコールセンターに集約することで、応対品質の向上、クイックレスポンスを目指していきます。

ロボアドバイザーサービスの提供開始

7月31日、北陸銀行ホームページ上にてロボアドバイザー「投信ロボアドバイザーはてなくん」のサービスを開始しました。ロボアドバイザーは、いくつかの簡単な質問に回答いただくことにより、お客さまの投資スタイルを判断し、お客さまの嗜好・ニーズや個別銘柄の運用実績を反映したポートフォリオ（資産配分）・個別商品の提案を行うものです。

北海道銀行 TOPICS

金融のワンストップサービス拠点を開設

7月17日、「銀行・保険・証券」の連携による金融のワンストップサービス拠点を北海道銀行本店ビル隣りの新大通ビルディングに開設しました。「住宅ローンプラザ大通」、「保険プラザ大通」、「ほくほくＴＴ証券札幌営業部」、北海道銀行本店が連携し、グループ一体となったコンサルティングサービスを提供します。お客さまのライフステージに合わせたニーズに幅広くお応えすることで、満足いただける質の高いサービスを提供します。

ATM画面のレイアウト変更・新サービスの開始

9月21日、お客さまへの利便性・サービス向上を目的にＡＴＭ画面をユニバーサルデザイン化しました。利用頻度の高い「引き出し」「預け入れ」等の操作ボタンを画面上部に大きなサイズのアイコンで表示し、見やすく使いやすい画面に改善しました。

また、お客さまの年齢、性別、お取引状況等から分析した最適な商品・サービスをＡＴＭ画面でご案内するサービスも同時に開始しました。

財　務　諸　表　ほくほくフィナンシャルグループ｜単体 第15期中間期

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表（平成29年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
流動資産	5,718	流動負債	215
現金及び預金	266	預り金	4
有価証券	5,200	未払費用	85
前払費用	5	未払配当金	94
未収収益	81	未払法人税等	18
未収還付法人税等	165	その他	12
固定資産	255,648	固定負債	25,016
有形固定資産	0	社債	25,000
器具及び備品	0	役員退職慰労引当金	16
無形固定資産	3	負債の部合計	**25,232**
ソフトウエア	3	**純資産の部**	
投資その他の資産	255,644	資本金	70,895
関係会社株式	230,270	資本剰余金	133,496
関係会社長期貸付金	25,000	資本準備金	82,034
その他	373	その他資本剰余金	51,461
		利益剰余金	32,624
		その他利益剰余金	32,624
		繰越利益剰余金	32,624
		自己株式	△ 1,334
		株主資本合計	235,680
		新株予約権	453
		純資産の部合計	**236,134**
資産の部合計	**261,366**	負債及び純資産の部合計	**261,366**

中間損益計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

営業収益		1,138
関係会社受取配当金	808	
関係会社受入手数料	329	
営業費用		306
販売費及び一般管理費	306	
営業利益		831
営業外収益		110
関係会社貸付金利息	94	
その他の営業外収益	16	
営業外費用		133
社債利息	94	
事務委託費	39	
その他の営業外費用	0	
経常利益		808
税引前中間純利益		808
法人税、住民税及び事業税	1	
法人税等合計		1
中間純利益		807

中間株主資本等変動計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	70,895	82,034	51,451	133,485	38,389	38,389	△ 1,363	241,406	367	**241,774**
当中間期変動額										
剰余金の配当					△ 6,571	△ 6,571		△ 6,571		**△ 6,571**
中間純利益					807	807		807		**807**
自己株式の取得							△ 5	△ 5		**△ 5**
自己株式の処分			10	10			34	44		**44**
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									86	**86**
当中間期変動額合計	–	–	10	10	△ 5,764	△ 5,764	28	△ 5,725	86	**△ 5,639**
当中間期末残高	70,895	82,034	51,461	133,496	32,624	32,624	△ 1,334	235,680	453	**236,134**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結貸借対照表 （平成29年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
現金預け金	1,926,298	預金	10,793,042
コールローン及び買入手形	47,008	譲渡性預金	196,403
買入金銭債権	49,113	コールマネー及び売渡手形	20,000
特定取引資産	4,732	債券貸借取引受入担保金	338,517
金銭の信託	10,711	特定取引負債	792
有価証券	2,136,803	借用金	318,454
貸出金	7,930,744	外国為替	86
外国為替	20,292	社債	25,000
その他資産	202,014	その他負債	74,309
有形固定資産	99,801	退職給付に係る負債	12,653
無形固定資産	24,461	役員退職慰労引当金	183
退職給付に係る資産	140	偶発損失引当金	1,320
繰延税金資産	2,370	睡眠預金払戻損失引当金	1,718
支払承諾見返	61,084	特別法上の引当金	0
貸倒引当金	△ 52,257	繰延税金負債	15,269
		再評価に係る繰延税金負債	5,583
		支払承諾	61,084
		負債の部合計	**11,864,420**
		純資産の部	
		資本金	70,895
		資本剰余金	144,597
		利益剰余金	289,636
		自己株式	△ 1,369
		株主資本合計	503,758
		その他有価証券評価差額金	89,463
		繰延ヘッジ損益	△ 876
		土地再評価差額金	8,794
		退職給付に係る調整累計額	△ 5,251
		その他の包括利益累計額合計	92,130
		新株予約権	453
		非支配株主持分	2,556
		純資産の部合計	**598,899**
資産の部合計	**12,463,320**	負債及び純資産の部合計	**12,463,320**

中間連結損益計算書 （平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

経常収益		91,763
資金運用収益	59,017	
（うち貸出金利息）	(45,029)	
（うち有価証券利息配当金）	(13,001)	
役務取引等収益	19,045	
特定取引収益	433	
その他業務収益	6,721	
その他経常収益	6,545	
経常費用		73,699
資金調達費用	3,312	
（うち預金利息）	(783)	
役務取引等費用	7,610	
その他業務費用	7,960	
営業経費	49,442	
その他経常費用	5,373	
経常利益		18,064
特別利益		41
特別損失		1,261
税金等調整前中間純利益		16,845
法人税、住民税及び事業税	5,486	
法人税等調整額	181	
法人税等合計		5,668
中間純利益		11,176
非支配株主に帰属する中間純利益		63
親会社株主に帰属する中間純利益		11,113

中間連結株主資本等変動計算書 （平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本					その他の包括利益累計額							
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	70,895	144,587	284,896	△ 1,398	498,979	81,406	△ 1,208	8,993	△ 5,773	83,417	367	2,472	**585,237**
当中間期変動額													
剰余金の配当			△ 6,571		△ 6,571								**△ 6,571**
親会社株主に帰属する中間純利益			11,113		11,113								**11,113**
自己株式の取得				△ 5	△ 5								**△ 5**
自己株式の処分		10		34	44								**44**
土地再評価差額金の取崩			198		198								**198**
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）						8,057	332	△ 198	522	8,713	86	83	**8,882**
当中間期変動額合計	–	10	4,740	28	4,778	8,057	332	△ 198	522	8,713	86	83	**13,661**
当中間期末残高	70,895	144,597	289,636	△ 1,369	503,758	89,463	△ 876	8,794	△ 5,251	92,130	453	2,556	**598,899**

財　務　諸　表　北陸銀行｜単体 第111期中間期

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表（平成29年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
現金預け金	1,140,824	預金	6,206,991
コールローン	47,008	譲渡性預金	156,784
買入金銭債権	49,112	コールマネー	20,000
特定取引資産	1,778	債券貸借取引受入担保金	321,497
有価証券	1,364,670	特定取引負債	792
貸出金	4,567,970	借用金	201,184
外国為替	9,917	外国為替	25
その他資産	56,513	その他負債	22,231
有形固定資産	75,686	退職給付引当金	1,404
無形固定資産	5,118	役員退職慰労引当金	43
前払年金費用	3,709	偶発損失引当金	794
支払承諾見返	31,973	睡眠預金払戻損失引当金	1,194
貸倒引当金	△ 19,253	繰延税金負債	16,240
		再評価に係る繰延税金負債	5,583
		支払承諾	31,973
		負債の部合計	**6,986,743**
		純資産の部	
		資本金	140,409
		資本剰余金	14,998
		資本準備金	14,998
		利益剰余金	115,371
		利益準備金	12,707
		その他利益剰余金	102,663
		繰越利益剰余金	102,663
		株主資本合計	270,779
		その他有価証券評価差額金	69,589
		繰延ヘッジ損益	△ 876
		土地再評価差額金	8,794
		評価・換算差額等合計	77,507
		純資産の部合計	**348,287**
資産の部合計	**7,335,031**	負債及び純資産の部合計	**7,335,031**

中間損益計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

経常収益		45,635
資金運用収益	33,259	
（うち貸出金利息）	(23,375)	
（うち有価証券利息配当金）	(9,098)	
役務取引等収益	8,052	
特定取引収益	29	
その他業務収益	820	
その他経常収益	3,473	
経常費用		34,776
資金調達費用	2,840	
（うち預金利息）	(549)	
役務取引等費用	3,580	
その他業務費用	1,861	
営業経費	24,198	
その他経常費用	2,294	
経常利益		10,859
特別利益		41
特別損失		1,093
税引前中間純利益		9,806
法人税、住民税及び事業税	3,166	
法人税等調整額	52	
法人税等合計		3,218
中間純利益		6,588

中間株主資本等変動計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計						
当期首残高	140,409	14,998	14,998	12,707	95,876	108,584	263,992	66,348	△ 1,208	8,993	74,132	**338,125**
当中間期変動額												
中間純利益					6,588	6,588	6,588					**6,588**
土地再評価差額金の取崩					198	198	198					**198**
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）								3,241	332	△ 198	3,374	**3,374**
当中間期変動額合計	－	－	－	－	6,786	6,786	6,786	3,241	332	△ 198	3,374	**10,161**
当中間期末残高	140,409	14,998	14,998	12,707	102,663	115,371	270,779	69,589	△ 876	8,794	77,507	**348,287**

（注）記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表（平成29年9月30日現在）

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
現金預け金	783,765	預金	4,597,313
商品有価証券	2,954	譲渡性預金	52,218
金銭の信託	9,211	債券貸借取引受入担保金	17,020
有価証券	761,687	借用金	139,005
貸出金	3,378,342	外国為替	60
外国為替	10,374	その他負債	23,039
その他資産	98,610	退職給付引当金	6,890
有形固定資産	29,268	役員退職慰労引当金	104
無形固定資産	4,382	偶発損失引当金	525
繰延税金資産	3,175	睡眠預金払戻損失引当金	524
支払承諾見返	29,094	支払承諾	29,094
貸倒引当金	△ 25,574	負債の部合計	**4,865,797**
		純資産の部	
		資本金	93,524
		資本剰余金	16,795
		資本準備金	16,795
		利益剰余金	86,372
		利益準備金	8,716
		その他利益剰余金	77,656
		繰越利益剰余金	77,656
		株主資本合計	196,691
		その他有価証券評価差額金	22,804
		評価・換算差額等合計	22,804
		純資産の部合計	**219,495**
資産の部合計	**5,085,293**	負債及び純資産の部合計	**5,085,293**

中間損益計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

経常収益		38,764
資金運用収益	26,987	
（うち貸出金利息）	(21,711)	
（うち有価証券利息配当金）	(5,076)	
役務取引等収益	8,354	
その他業務収益	127	
その他経常収益	3,294	
経常費用		30,518
資金調達費用	455	
（うち預金利息）	(234)	
役務取引等費用	4,689	
その他業務費用	1,567	
営業経費	21,224	
その他経常費用	2,581	
経常利益		8,246
特別損失		195
税引前中間純利益		8,051
法人税、住民税及び事業税	1,838	
法人税等調整額	285	
法人税等合計		2,123
中間純利益		5,927

中間株主資本等変動計算書（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

（単位：百万円）

	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	93,524	16,795	16,795	8,554	72,695	81,250	191,569	18,531	18,531	**210,101**
当中間期変動額										
剰余金の配当				161	△ 966	△ 805	△ 805			**△ 805**
中間純利益					5,927	5,927	5,927			**5,927**
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）								4,272	4,272	**4,272**
当中間期変動額合計	–	–	–	161	4,960	5,121	5,121	4,272	4,272	**9,393**
当中間期末残高	93,524	16,795	16,795	8,716	77,656	86,372	196,691	22,804	22,804	**219,495**

株式のご案内　ほくほくフィナンシャルグループ

決算期		毎年3月31日
定時株主総会の基準日		毎年3月31日
定時株主総会		毎年6月
剰余金の配当の基準日		3月31日および中間配当金の支払いを行うときは9月30日
1単元の株式数		100株
証券コード		8377
上場証券取引所(普通株式)		東京証券取引所(第一部)および札幌証券取引所
公告方法		電子公告により当社ホームページ(http://www.hokuhoku-fg.co.jp/)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株式事務取扱場所	株主名簿管理人・特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
	お問い合わせ先・郵便物の送付先	〒168-8507　東京都杉並区和泉2丁目8番4号 **みずほ信託銀行株式会社　証券代行部** フリーダイヤル　**0120-288-324**（みずほ） 受付時間：平日9時～17時(土・日・祝祭日を除く)

■株式に関する諸手続きについて

お手続き、ご照会の内容に応じて、下記のいずれかの窓口にお問い合わせください。

❶ 普通株式をご所有の株主さま

住所・氏名など届出事項の変更、配当金振込先の指定、単元未満株式の買取・買増請求等	・**証券会社の口座に記録されている株式** ･･･ 口座を開設されている証券会社 ・**特別口座に記録されている株式** ･･･ みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行 および みずほ銀行 の本店および全国各支店 (みずほ証券 の本支店でもお取次ぎしております。)
支払明細の発行	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

❷ 優先株式をご所有の株主さま

各種ご請求・お手続き	みずほ信託銀行 および みずほ証券 の本店および全国各支店

■普通株式年間配当（1株当たり）

(単位：円)

26年度	27年度	28年度	29年度（予定）
42.5	**42.5**	**44.0**	**44.0**

普通株式配当につきましては、自己資本の状況を踏まえ、中間配当を見送りとさせていただき、期末一括配当1株当たり44円を予定しています。
また、優先株式は所定の中間配当とさせていただきました。

※平成28年10月1日を効力発生日として、「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施しています。左記の過去配当実績は比較のため「併合後の1株当たり配当金額」としています。

旭川支店と福井支店を開設

12月4日に北海道地区で2か店目となる「旭川支店」を開設しました。北海道銀行旭川支店が入居する旭川道銀ビルで営業しています。
また、平成30年2月5日には、福井県で初となる「福井支店」を北陸銀行福井支店内に開設します。

●新店舗の概要

名称	旭川支店	福井支店
所在地	旭川市2条通9丁目228番地 旭川道銀ビル5F	福井市中央1丁目7-15 北陸銀行福井支店2F
営業開始日	平成29年12月4日	平成30年2月5日（予定）

ほくほくTT証券は、新店舗の旭川支店・福井支店のほか「本店営業部」「札幌営業部」「金沢支店」の3か店で営業しています。

●ほくほくTT証券 支店概要

名称	本店営業部	札幌営業部	金沢支店
所在地	富山市丸の内1-8-10 富山丸の内ビル	札幌市中央区大通西4-1 新大通ビル	金沢市南町5-28 北陸銀行金沢支店内
電話番号	076-471-8164	011-231-7101	076-254-1811

リアルタイム株価情報サービス（QUICK投資情報）の提供開始

リアルタイム株価情報サービスは、パソコンやスマホで投資情報を簡単に確認できるサービスです。
ほくほくTTダイレクト*をご契約の場合に、無料でご利用いただけます。

＊ほくほくTTダイレクト…ほくほくTT証券に口座をお持ちのお客さまがパソコン等を利用して株式・投資信託の取引や各種照会ができるサービスです。

便利な投資情報を簡単チェック

- 個別銘柄のリアルタイム株価やPER、利回り等の情報を一目で確認
- 個別銘柄の株価等情報を並べて比較
- ニュース・為替・ランキングなど国内外のマーケット情報をチェック

条件指定で銘柄を検索

- 評価の高い銘柄や割安銘柄などの条件を指定し、投資目的にあった銘柄を簡単検索

自動更新株価ボード

- 気になる銘柄を登録するだけで株価がリアルタイムに自動更新
- 最大100銘柄登録可能

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group, Inc.

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel：076-423-7331
http://www.hokuhoku-fg.co.jp/

株式会社 北陸銀行
総合企画部広報CSR室
〒930-8637
富山市堤町通り 1丁目2番26号
Tel：076-423-7111
http://www.hokugin.co.jp/

株式会社 北海道銀行
経営企画部広報CSR室
〒060-8676
札幌市中央区大通西4丁目1番地
Tel：011-233-1005
http://www.hokkaidobank.co.jp/

本冊子は、読みやすさや見やすさに配慮・工夫された書体（ユニバーサルデザインフォント）を採用しています。
ベジタブルインキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しています。

Interim Mini Disclosure 2017

2017年12月発行